

山梨YMCA みつかる。つながる。よくなっていく。

21世紀版 28号

山梨青年

YMCA NEWS

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。
一ペトロの手紙Ⅰ 4章8節



2023年9月20日 発行
公益財団法人山梨YMCA
〒400-0032
甲府市中央3-10-7
Tel.055-235-8543
fax055-235-8553
www.yamanashiyymca.org
発行人 / 中田純子
編集人 / 風間奈月



第63回山梨YMCAチャリティーバザー実行委員長 荻野 清



本年11月3日(金)は、恒例の第63回山梨YMCAチャリティーバザーの開催日です。新型コロナウイルスが第5類への移行に伴い、規制緩和感あるものの、我々はバザーへの対応に細心の留意を払いつつ、チャリティーバザーの本質に沿ったイベントの実行をおこなわなくてはなりません。

このイベントは、山梨YMCAとボーイスカウト甲府5団、山梨ポーターズ協会、甲府箱舟協会及び山梨県内ワイズメンズクラブ4団体、並びに地域の皆様方の協働によるものであり、先達から受け継いできた伝統のものです。

そこで本実行委員会では、これまでの反省に基づき、ボランティアの皆様とスタッフが一致団結した形のゾーニング構築を図っているところです。その一つは、“障がい者・ユース・高齢者”のテーマに基づく『エンジョイLife』のゾーン、二つ目は“子ども・児童発達支援”のテーマに基づく『キッズマルシェ』のゾーン、そして三つ目は“地域に根差したこれまでの63年間及び賑やかマルシェ&文化・教養”に基づく『びっくり市&マルシェ21』のゾーンというものであります。また、お楽しみ企画として『YMCAスタンプラリー』や飲食コーナー『レインボーCafé』を設けさせていただく予定です。さらに、コロナ禍であったため、本館の活用を制限してまいりましたが、今回より、3階ホールを『ワンコイン体験コーナー』の形で……というものを実行させていただきます。

今後の実行委員会では、イベント内容の精度をさらに高め、近隣の方々との対話を実行しつつ、実り多いチャリティーバザーをめざしていきます。準備期間がございますので、この期間に当委員会へのご助言・ご指導がございましたら、YMCA事務局(本館2F)へお寄せください。お待ちしております。

過去も未来も引継ぎ総主事として歩みはじめ、ようやく1年半の時間が過ぎようとしています。

山梨YMCAは戦後間もない1946年、全国で13番目に設立されました。約50年後の1998年の定期総会で山梨YMCAの使命が採択されました。「我ら山梨YMCAは、聖書に証しされたイエス・キリストをわが神わが救い主と仰ぎ、その御旨に従い、全ての人の精神、知性、身体的全人的な成長を目指して、地域に根ざした以下の働きを行います。」に1から4の働きが示されました。その後、25年経過した現在、「FOR ALL」の実現と共に地球市民である事の意味を問う自然との共存を目指した、「今」を迎えています。この先の山梨YMCAを考えると、まず、私たちの働きは「誰のためにあるのか」を優先したいところです。人に寄り添う私たちの事業は人がいる限り続いていくでしょう。私たちがやりたい何かではなく、地域の人々のニーズ、社会のニーズを常に横に置き、自分ごととして事業展開する事こそが私たちに与えられた働きなのだと実感します。これからもYMCAに恵みと豊かな時が守られますようにお祈りいたします。

ワイズメンズクラブ 特集

甲府ワイズメンズクラブ

甲府ワイズメンズクラブでは、会員数約30名で活動をしています。活動拠点は、主に山梨YMCA内です。チャリティーランやサマーキャンプ、チャリティーバザーの支援などを行っています。YMCAの支援を第一の目的として、地域、国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。



甲府21ワイズメンズクラブ

甲府21ワイズメンズクラブの小澤紀と申します。私たちのクラブは現在42名の会員（平均年齢67歳）で、主に「YMCAの支援」を主目的として活動しており、年間行事の「YMCAバザー」や「チャリティーラン」を始め様々な面でお手伝いをしております。今年度、私たちは「ユース」の皆様との交流機会を増やしたいと考えております。これからの日本の社会を作るのは皆さんたち若い力であり、皆さんの考える「良い社会」の実現の為のお手伝いをしたいと考えているからです。本年度は私達クラブの月1度の例会に都度御案内しますので是非参加いただき、皆様の思いや具体的な活動について互いの理解を深めながら協力していきたいと考えております。



富士五湖ワイズメンズクラブ

こんにちは！富士五湖クラブです。私たちは今12名で活動しています。主な自主活動内容としては、毎年9月末の土、日に1泊2日で富士山5合目という日本1高いところで開催の「富士山例会」です。北は北海道から南は京都、神戸、海外からも参加されています。今年で19回目になります。心ゆくまで食べて飲んで語りませんか・・・ もう1つは毎年4月に開催の「障がい者フライングディスク大会」です。本大会は障害のある方が日々の練習の成果を発揮する場と各地の支援施設の交流の場として充実した生活の一助に、また社会参加の一步となることを願い開催しております。



多くのワイズメン、一般ボランティアの方々の協力を得て今年も4月に「第12回大会」を開催しました。メダルをかけてもらい、みんなで万歳で栄誉を讃えます。選手たちの溢れる笑顔が印象的です。学生ボランティアも募集しています。われこそはという方がおりましたらご連絡お待ちしております。楽しくなければワイズじゃない！みんなで協力して楽しいワイズ活動を進めていきます。今年も新たな事業も展開していきたいと考えています。お楽しみに！



甲府やまなみワイズメンズクラブ

甲府やまなみワイズメンズクラブはボランティア活動を通じて地域社会の力を高める活動を行っています。地域の若者の育成支援ややまなしグローバルフェスタ2023の企画運営などを行ったりすることによってYMCA活動のサポート、キャンプやアクティビティなど活動のサポートを実施しております。また、YMCAバザー、チャリティーランへ参加を行っております。今年重点目標として毎回内容の濃い例会とすることで参加者の満足度を高めて、有意義な時間を過ごせるようにしていきたいと思っております。



松本ワイズメンズクラブ

今年10月で創立35周年を迎える松本ワイズメンズクラブは、現在11名のメンバーです。YMCAのまだ無い長野県の松本で活動していますが、何と言ってもメンバーが最高に一つになれるのは、松本市を中心とした留学生たちに日本語の論文を書いて応募していただき、これに賞を与えて奨学金を授与する、「アジア賞」です。今年で25回目を迎え、昨年よりアジアだけから世界にその対象を広げ、ワイズの国際・ユース・地域貢献を併せ持ったプログラムとしてこれからも世界からのユースと絆を深めて行きます。



長野ワイズメンズクラブ

今年10月2日で13年を迎える長野ワイズメンズクラブは、現在8名のメンバーです。今年度は、あずさ部部長に森本俊子メンが就任、会長に青山史恵メンの就任がありました。あずさ部部大会が長野開催です。皆様のご来県をメンバー皆で心待ちにしております。



全国YMCA発達支援事業担当者会 in 山梨YMCA

6月30日（金）～7月1日（土）の2日間において、ここ山梨YMCAにおいて、「2023 全国YMCA児童発達支援事業担当者会」が開催されました。ここ数年は、コロナ禍でのオンライン開催でしたが、今年は、初めて会場参加とオンライン参加を合わせた「ハイブリッド開催」という形式で行われました。参加者は、会場参加16名（内、山梨Y5名）、オンライン参加23名でした。加えて、2日目の基調講演には山梨Yチャイルドケア事業部のスタッフ15名が参加し、田中先生のお話をお聞きし、貴重な研修の機会となりました。まずは、全国から来られた参加者の方からは、会場であるペテルホールをはじめとする新館施設のすばらしさや、さらに、本館を中心に近隣施設を拡張していった様子に、「すばらしい一言！」など、たくさんのおほめの言葉をいただきました。



1日目は午後から開始され、開会礼拝、「山梨YMCAの児童発達支援事業の紹介」があり、続いて、実践発表が2本を行いました。横浜YMCAから「Sport in Life推進プロジェクト報告～デジタルとの上手なつきあい方～」と題して、デジタル依存に対する取り組みが報告されました。続いて、山梨YMCAからは、「山梨YMCAの中高校生支援について」と題して、高校生支援プログラム「ココカラゼミ」の紹介と、山梨英和高校通信制とプログラム連携について、報告しました。その後の分団協議では、各地の事業の内容や課題などを出し合い、よい交流の場となりました。2日目は午前から開催され、開会礼拝と1日目の振り返りの後、基調講演が行われました。講師は、児童精神科医である田中哲先生（子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長、山梨県立こころの発達総合支援センター医師）にお願いしました。お話は、先生とYMCAとのつながりから始まり、「児童精神科医としての活動の大半をYMCAと共に歩んできた」とおっしゃったのが印象的でした。また、YMCAが果たす役割として「子どもにとっての『安全なヨソ』（community）として、YMCAが居場所になりえるか」という、適切かつ貴重なご示唆をいただきました。参加した山梨Yのスタッフからは「子どもの成長にコミュニティが、いかに大切で大事だということがわかった。」「子ども自身のwell-being（自己肯定感）を高める努力を大切にし、その子「らしさ」が輝く環境づくりに努めていきたい」という感想が寄せられています。2日間の担当者会を通して、全国YMCAにおいて、児童発達支援事業にかかわる仲間との存在とつながりを感じることができ感謝でした。



御寄付者 2023年4月～8月

赤澤 睦子	佐野 和美
網野 清三郎	鈴木 健司
岩間 孝吉	古屋 知子
笈川 光郎	愛知株式会社
大和田浩二	小倉税務会計事務所
大和田節子	(有)ユニオンサービス
岡田 恭子	甲府21ワイズメネット会
河西 敏彦	東日本区ワイズメネット委員会
鎌田 千里	(敬称略)
窪田 務	皆様の善意に感謝いたします。
小山 憲彦	

表紙の写真から



子どもから大人まで様々な世代が集まる
チャリティーバザー！
まさに「FOR ALL」を表す写真
今年度はさらに進化したバザーをお楽しみに！